

D/M 故障およびその原因と対策



注1) このフィルターの点検については、9.2-(7)項(52頁)を参照して下さい。

注2) ポンプが正常な場合は、わずかに逆転側に回りますが、手を放すと再び元に戻ります。

注3) 定格荷重で油温40℃の場合、モーター1回転の時間が35秒以上であれば正常です。

注4) ポンプが異常摩耗(かじり)する原因としては、
 ○粘度の低い作動油を使用している。
 ○配管工事が悪く、油中にゴミが入っている。
 ○ポンプ据付けの基礎が弱く、台盤が変形して芯出し不良の状態になっている。
 ○ポンプ上部のパイプ保持が弱く、パイプによって芯出し不良の状態になっている。
 などが考えられます。変形の場合は、カップリングのセンターリングを計測することにより点検出来ます。

注5) コントロールバルブ分配弁やノンレタンバルブスティックの原因の1つとして、配管や据付けの歪による場合があります。

注6) 空気抜きについては、7.3項(41頁)を参照して下さい。

注7) 別冊「リモートコントロール装置」の説明書を参照して下さい。

注8) ポンプを始動したときハンドルが巻出し方向に取られるのは、スライドバルブの上部スプリングが弱くなったためで、特に油量の多いポンプで見られます。

注9) 軸受部に手を触れてみて、触れられない程熱い場合は異常です。